

送金指図作成手順 (Payments and Transfers)

～GCMS Plus 紹介ビデオコース～

2024年11月

COMSUITE
GLOBAL TRANSACTION BANKING SOLUTIONS

三菱UFJ銀行



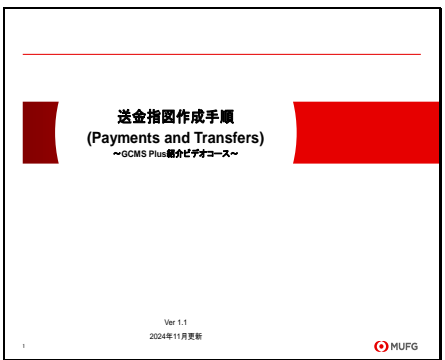
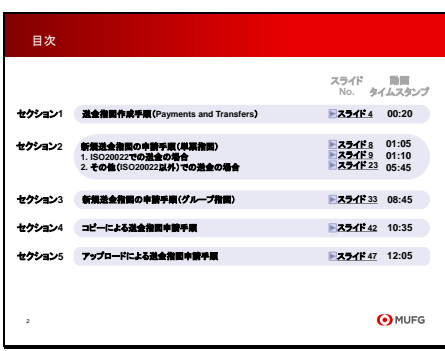
本書について

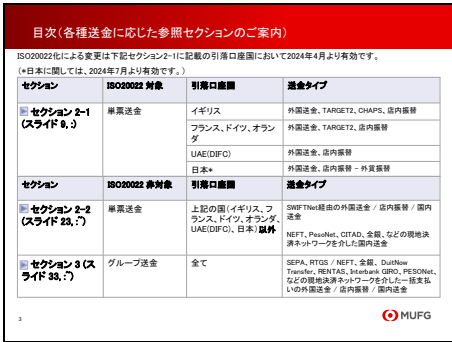

本書は GCMS Plus 紹介ビデオコース（動画）[送信指図作成手順（Payments and Transfers）] および同 FAQ の
付属説明資料です。

動画本編と併せてご確認ください。

注： 本書内の文字検索やしおりの機能をご利用いただくと、簡単にお探しのトピックに移動することができます。

スクリプト

<p>スライド 1</p>		<p>GCMS Plus紹介ビデオコースへようこそ。</p> <p>本書はビデオコースに付属する補足説明資料です。単独で参照、また動画ファイルと一緒にご利用ください。</p> <p>本コースでは、送金(Payments and Transfers)メニューを利用して、送金指図の作成手順に関する基本的な内容をご説明します。</p> <p><コース対象者></p> <p>GCMS Plusのサービス利用開始手順の基本事項を知りたい方、特に以下に該当する方を対象としています。</p> <ul style="list-style-type: none">GCMS Plusを初めて利用されるユーザー(以下、GCMS Plusサービスにログインしサービスを利用する方を[ユーザー]とします)送金指図の作成手順を知りたいユーザー
<p>スライド 2</p>		<p><目次></p> <p>本コースはGCMS Plusを初めて利用する方をはじめ、幅広いユーザー向けに作成しています。</p> <p>5つのセクションに分かれていますので、既にご存知の内容がある場合は、確認が必要なセクションのみ学習してください。</p> <p>動画ファイルをご視聴の場合は、各セクションタイトルの横に記載されている再生開始時間をご参照ください。</p> <p>また、本書を使い学習される場合は、下記のリンクから各セクションに移動してください。</p> <ul style="list-style-type: none">セクション1:送金指図作成手順(Payments and Transfers)セクション2:新規送金指図の申請手順<ul style="list-style-type: none">1. 送金タイプ:ISO20022の場合2. 送金タイプ:その他(ISO20022以外)の場合セクション3:新規送金指図の申請手順(グループ指図)セクション4:コピーによる送金指図申請手順セクション5:アップロードによる送金指図申請手順 <p>以下のユーザー(申請者、承認者)向けには、関連のGCMS Plus紹介ビデオコース[送金照会・承認手順]も用意しています</p>

		<p>ので、併せてご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作成済の送金指図の照会（編集、差戻等）手順を知りたいユーザー（申請者） 送金指図の承認方法を知りたいユーザー（承認者）
<p>スライド 3</p>		<p><目次(送金毎の参照セクションのご案内)></p> <p>このテーブルは、送金タイプと引落口座国の組み合わせに応じて、セクション2「新規送金指図の申請手順(単票指図)」及び、セクション3「新規送金指図の申請手順(グループ指図)」において、どのセクションが該当するかを示しています。お客さまが実施予定の送金タイプ、引落口座国に該当するセクションをご参照下さい。</p> <p>左記に記載の引落口座国に関する情報については、2024年4月より有効です。(※日本に関しては、2024年7月より有効です。)</p>
<p>スライド 4</p>		<p>まず、本セクションでは送金 (Payments and Transfers) を利用して送金を開始するための基本事項について説明します。本コースは、お客さま(以下、利用会社を[お客さま]という)が GCMS Plusをご契約いただいております。COMSUITEならびに GCMS Plusへのログイン方法をご存じで事前に基準通貨、ユーザー権限などの初期設定を完了済であることを前提としています。</p> <p>関連のビデオコースもご参照ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> COMSUITEサービスご利用開始手順 (COMSUITE紹介ビデオコース) 基準通貨と換算レートの設定手順 (GCMS Plus紹介ビデオコース) ユーザープロフィールの設定手順 (GCMS Plus紹介ビデオコース) 承認フローの設定手順 (GCMS Plus紹介ビデオコース) 受取人リストの設定手順 (Payments and Transfers) (GCMS Plus紹介ビデオコース) 送金照会・承認手順 (Payments and Transfers) (GCMS Plus紹介ビデオコース)

スライド 5



<メガメニュー>

GCMS Plusにログインすると、GCMS Plusトップページが表示され、ページ上部のメガメニューから全ての利用可能サービスを確認することができます。

メガメニューとは、取引サービス、照会、管理によって分類された全てのサービスを含むメニューを指します。

どの画面からもアクセス可能です。

メガメニューから特定のサービスにアクセスするか、HomeボタンをクリックすることでGCMS Plusトップページに戻ることができます。

スライド 6



本コースでは、取引サービスメニューにある送金 (Payments and Transfers) の利用手順をご説明します。


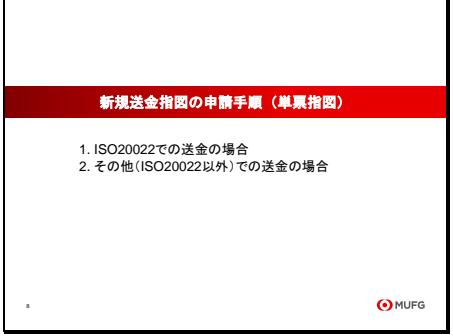
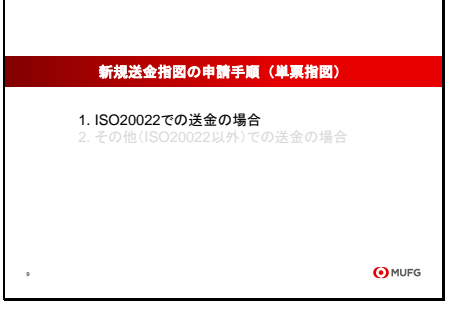
UK Low Value Payment、SEPAダイレクトデビット、納税をご利用のお客さまは、送金 (Payments and Transfers) とは別のメニューから各サービスにアクセスしてください。


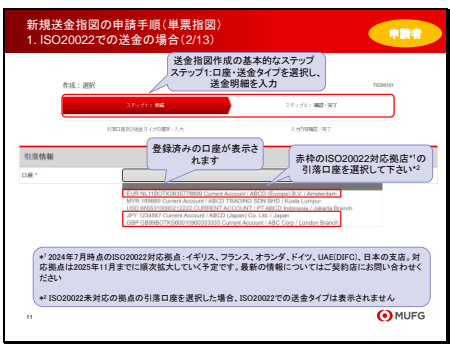
メガメニューには、お客様のGCMS Plusのご契約、申込書およびユーザー権限に基づくサービスのみが表示されるため、お客様の画面に表示される実際のメニュー内容とは異なる場合がありますのでご注意ください。

<注意事項>

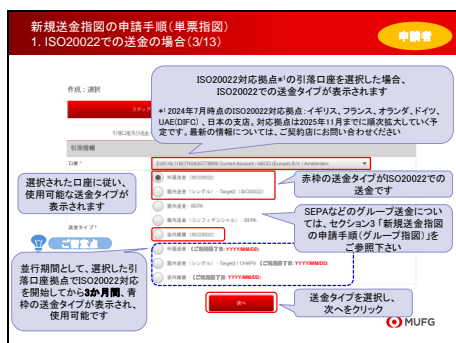
以下が送金 (Payments and Transfers) サービスに含まれています。

- 送金
- グループ・コンフィデンシャルペイメント
- シングルペイメント
- グループペイメント
- コンフィデンシャルペイメント
- SEPA送金
- 国内送金 (欧州)
- DuitNow

<p>スライド 7</p>		<p><送金-作成></p> <p>送金 (Payments and Transfers) を使用して送金する方法は以下3つあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新規作成(入力) 2. 過去データをコピーして作成(コピー) 3. データファイルをアップロードして作成(アップロードもしくは、アップロード - SEPA Local Format)
<p>スライド 8</p>		<p>このセクションでは、以下の二つのケースに分けて説明します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ISO20022での送金の場合 2. その他(ISO20022以外)での送金の場合
<p>スライド 9</p>		<p>このセクションでは、送金 (Payments and Transfers) を使ってISO20022での送金指図を作成する際のポイントについてご説明します。</p>

<p>スライド 10</p>		<p><アクセス方法></p> <p>GCMS Plusトップページまたはその他のページで、マウスのカーソルをメガメニューの取引サービスに合わせ、送信>作成>入力をクリックして、新規送信指図を入力します。</p> <p>このメニューは、SWIFTNet経由の外国送金/店内振替/国内送金、およびSEPA、NEFT、PesoNet、CITAD、および全銀などの現地決済ネットワークを介した国内送金を対象とした、共通メニューです。</p> <p>このセクションではISO20022での単票指図(外国送金など)の作成手順をご説明します。</p>
<p>スライド 11</p>		<p><作成:選択画面></p> <p>送信指図作成は、下記の2ステップで行います。</p> <p>ステップ1:作成</p> <p>ステップ2:確認・完了</p> <p>ステップ1では、まずドロップダウンリストからISO20022対応拠点*1の引落口座を選択します。</p> <p>*1 2024年7月時点のISO20022対応拠点:イギリス、フランス、オランダ、ドイツ、UAE(DIFC)、日本の支店。対応拠点は2025年11月までに順次拡大していく予定です。最新の情報については、ご契約店にお問い合わせください。</p> <p>*2 ISO20022未対応の拠点の引落口座を選択した場合、ISO20022による送金タイプは表示されません。</p>

スライド 12



<作成:選択画面>

ISO20022対応拠点*1の引落口座を選択した場合、ISO20022での送金タイプが表示されます。

送金タイプを選択し、次へ(Next)をクリックします。

*1 2024年7月時点のISO20022対応拠点:イギリス、フランス、オランダ、ドイツ、UAE(DIFC)、日本の支店。対応拠点は2025年11月までに順次拡大していく予定です。最新の情報については、ご契約店にお問い合わせください。

選択した口座に応じて、利用可能な送金タイプが表示されます。

以下が主な4種類の送金タイプです。

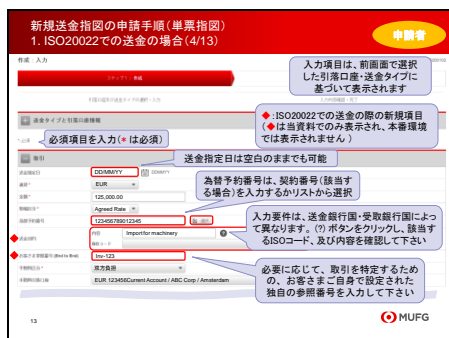
- 海外送金(SWIFTNet経由)
- 国内送金(シングル)(SWIFTNet経由)
- 国内送金(決済ネットワーク名)(ローカル決済ネットワーク経由)
- 店内振替(SWIFTNet経由)

赤枠の送金タイプがISO20022での送金です。

SEPAなどのグループ送金については、セクション3「新規送金指図の申請手順(グループ指図)」をご参照下さい。

並行期間として、選択した引落口座拠点でISO20022対応を開始してから3か月間、青枠の送金タイプが表示され、使用可能です。

スライド 13



<作成:入力画面 – 取引>

前画面で選択した口座と送金タイプの組み合わせにより、送金指図の入力項目が決まります。

入力項目の表示は、前画面の作成:選択画面で選択した引落口座、送金タイプにより異なりますので、実際の画面に従って必要事項を入力してください。

送金タイプと引落口座の+ボタンをクリックして、セクションを展開すると、詳細が表示されます。(デフォルトでは折りたたまれています)

画面に表示される入力項目に従い、以下項目に必要事項を入力します。

- ・取引
- ・受取人情報
- ・最終依頼人 / 最終受取人 詳細
- ・規制上の申告
- ・通知
- ・内部コメント

指図入力画面上的のアスタリスク(*)は、入力項目が必須であることを示しています。

<取引>

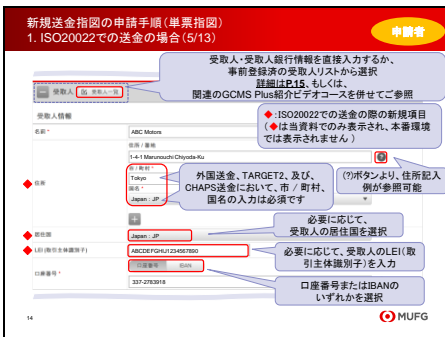
通貨、金額、相場区分(Non-Exchange/Spot Rate/Agreed Rate/Market Rate)、手数料区分(受取人負担/依頼人負担/双方負担/事前合意に基づく負担)等の取引に関する情報を入力します。

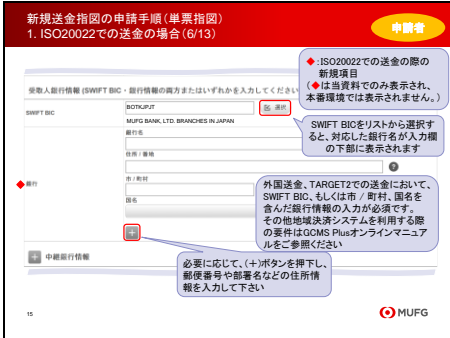
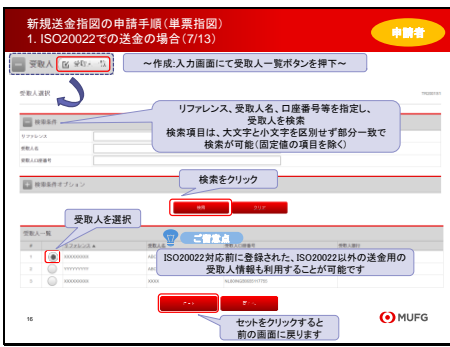
送金の作成時に送金指定日が決まっていない場合は、空白のまま申請が可能です。送金指定日は、後で申請者が編集したり、承認者が決定(上書き)することができます。詳細については、関連のGCMS Plus紹介ビデオコースの[送金照会・承認手順]をご参照ください。

金額を入力し、Non-Exchange、Spot Rate、Agreed Rate、またはMarket Rateの相場区分を選択します。

為替予約(相場区分:Agreed Rate)を締結している場合は、為替予約番号を直接入力するか、リストから締結済みの為替予約番号の情報を引き込むことができます。

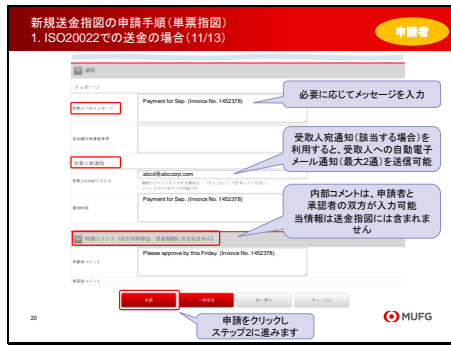
送金目的に関しては、送金銀行国・受取銀行国によって入力

		<p>必須項目となるので、(?) ボタンをクリックし、詳細な入力内容を確認のうえ、入力して下さい。</p> <p>お客様参照番号(End to End)に関しては、必要に応じて、取引を特定するための、お客さまご自身で設定された独自の参照番号を入力して下さい。</p> <p>入力項目に不明な点がありましたら、GCMS Plusユーザーマニュアルを参照いただくか、当行契約拠点までお問い合わせください。</p>
<p>スライド 14</p>		<p><作成:入力画面 – 受取人情報></p> <p>受取人名、ISO20022(外国送金、TARGET2、CHAPS)での送金において入力が必須である市 / 町村、国名を含んだ住所、口座番号、そして居住国やLEI(取引主体識別子)などのその他の必要情報を入力します。</p> <p>ユーザーは、受取人一覧から、事前登録済の受取人を選択することができます。</p> <p>受取人リストについては、任意でご利用いただくことも必須でご利用いただくも可能です。</p> <p>お客様の申込書上での申請に基づき当行にて、任意・必須の登録をします。</p> <p>詳細については、関連のGCMS Plus紹介ビデオコース[受取人リスト設定方法]をご参照ください。</p> <p>入力項目の表示は、前画面の作成:選択画面で選択された引落口座、送金タイプにより異なる場合があります。</p> <p>実際の画面に従い、必要情報を入力してください。</p>

<p>スライド 15</p>		<p><作成:入力画面 – 受取人銀行情報></p> <p>外国送金、TARGET2での送金において、SWIFT BIC、もしくは市 / 町村、国名を含んだ銀行情報の入力が必要です。その他地域決済システムを利用する際の要件はGCMS Plus オンラインマニュアルをご参照ください。</p> <p>追加の任意項目も入力可能です。必要に応じて、[+] をクリックし、郵便番号、部署名などの住所情報を入力します。</p>
<p>スライド 16</p>		<p><受取人リスト選択画面></p> <p>この画面で、検索条件を入力し、検索ボタンをクリックすると、事前登録済の受取人情報を取得することができます。検索条件には、リファレンス(特定の名前、優先順位、IDなど、受取人のために登録された参照情報)、受取人名、受取人口座番号等があります。</p> <p>検索したい受取人が見つからない場合は、さらに検索条件を絞り込んだり(複数の検索条件を併用可能)、受取人が受取人リストに事前登録済かどうかご確認ください。</p> <p>詳細については、関連のGCMS Plus紹介ビデオコース[受取人リスト設定方法]をご参照ください。</p> <p>ISO20022対応前に登録された、ISO20022以外の送金用の受取人情報も利用することが可能である旨、ご注意ください。</p> <p>検索する受取人が見つかった場合、該当のラジオボタンを選択し、設定(Set)をクリックすると前画面(作成:入力画面)に戻ります。</p> <p>登録済みの受取人と受取人銀行情報は、作成:入力画面に自動的に設定されます。</p>

<p>スライド 17</p>		<p><作成:入力画面 – 最終依頼人 / 最終受取人 詳細> 必要に応じて、最終依頼人・最終受取人情報を入力します。 (当セクションの全ての入力項目は入力任意です。)</p> <p>最終依頼人・最終受取人情報の説明は以下です。 最終依頼人:送金人の属する会社に支払いの実行を依頼した会社のこと。(例:送金人の属する会社の親会社等) 最終受取人:受取人の属する会社に支払いの受取・回収を依頼した会社のこと。(例:受取人の属する会社の親会社等)</p>
<p>スライド 18</p>		<p><作成:入力画面 – 規制上の申告> 受取人銀行宛情報を入力します。 入力要件は、送金銀行国・受取銀行国によって異なります。 (?) ボタンをクリックし、各国の入力要件を確認し、必要な情報を入力して下さい。 日本口座を引落口座として選択した場合、「規制上の申告」に「送金銀行宛情報」項目が追加で表示されます。詳細は次のページをご参照</p>
<p>スライド 19</p>		<p><作成:入力画面 – 規制上の申告> 送金目的分類欄、及び、送金銀行宛情報欄は、日本の口座が引落口座に選択された場合のみに表示され、入力が必要となります。 取引内の「送金目的分類」にて選択した分類(貿易、仲介貿易、貿易外取引)に応じて、「送金銀行宛情報」を入力して下さい。 例えば、「送金目的分類」にて貿易を選択した場合は、「送金銀行宛情報」の貿易欄の情報を入力する必要があります。 送金目的分類(貿易、仲介貿易、貿易外取引)に応じて、入力要件が異なるので、(?) ボタンをクリックし、各国の入力要件を確認の上、必要な情報を入力して下さい。</p>

スライド 20



<作成:入力画面 - 通知と内部コメント>

通知では、受取人へのメッセージを入力することができます。また、受取人宛通知機能にて、受取人へ送金情報を電子メールで通知したい場合は、受取人の電子メールアドレスと送金指定日、金額、メッセージ(内容)などの関連事項を入力します。
※受取人宛通知機能をご利用いただけるサービスは一部サービスに限られており、別途お申込みが必要となりますのでご注意ください。

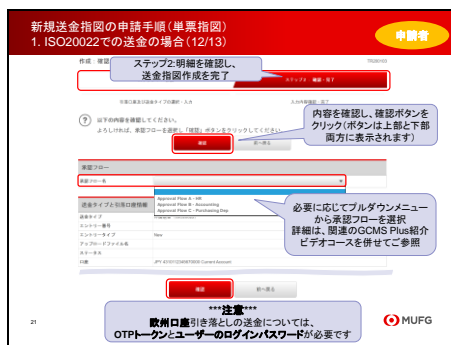
内部コメントの項目では、申請者コメント、または承認者コメントの入力が可能です。なお、コメントはお客さまが内部で使用するためのものであり、送金指図には含まれません。

入力が完了したら、申請(Apply)ボタンをクリックして次に進みます。
または、一時保存(Save as Draft)をクリックして送金指図を保存することができます。

<UIUXのポイント>

ハイライトしている赤色のボタンは、申請、一時保存、確認等の重要なアクションを表しています。一方、ライトグレーのボタンは、前へ戻る、キャンセル等のその他のアクションを表します。

スライド 21



<作成:確認画面>


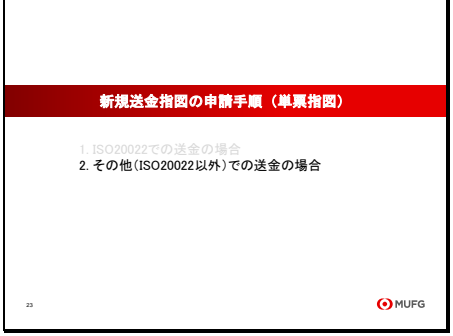

この画面は、送金指図作成のステップ2です。これまでに入力した情報を確認し、承認フローを登録している場合は、承認フローを選択します。

送金指図の承認フローについては、以下のパターンで適用されます。

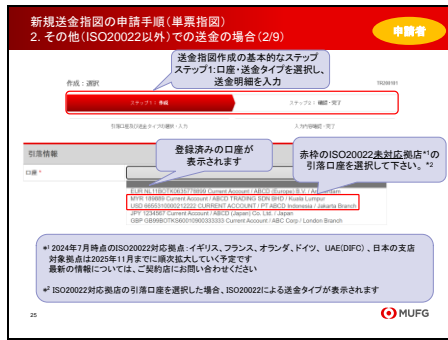
1. 受取人リストが送金指図(海外送金、国内送金(シングル)、店内振替)に使用され、特定の承認フローが受取人リスト*に登録されている場合は、登録済みの承認フローが自動的に適用されます。
2. 送金(Payments and Transfers)で、承認フロー*が1つ登録されている場合、当該承認フローが自動的に適用されま

		<p>す。</p> <p>3. 送金 (Payments and Transfers) で、承認フローパターンを作成し複数の承認フローを作成している場合、プルダウンメニューから承認フローを選択します。</p> <p>4. 承認フローを登録していない場合には、デフォルト承認フロー*(申請と承認の2ステップ)が自動的に適用されます。この場合、承認権限を持つすべてのユーザーがこの指図を承認することができます。</p> <p>*詳細については、関連のGCMS Plus紹介ビデオコース[受取人リスト設定手順と承認フロー設定手順]をご覧ください。</p> <p><PSD2規制に準拠した追加手順に関する注意> 欧州のPSD2規則が適用されるお取引の場合、送金指図の作成および承認(含む多段階承認)には、申請者および承認者の双方で、取引承認を行うことが義務付けられています。</p> <p>以下の基準のいずれかに該当する場合に必要となります。</p> <ul style="list-style-type: none">送金 (Payments and Transfers) の送金タイプが海外送金/国内送金(シングル)/店内振替(またはSWIFTNet経由の送金に相当するもの)の場合でEU/EEA各国の引落口座の場合 <p>※ 複数の送金指図を作成または承認する場合、上記の引落口座を含む送金指図が1件でも含まれていると本手順が必要となります。</p> <p>2. 送金 (Payments and Transfers) の送金タイプが以下のいずれかの場合:</p> <ul style="list-style-type: none">国内 - SEPA国内(コンフィデンシャル) - SEPA <p>3. 送金 (Payments and Transfers) 以外 UK Low Value Paymentsの場合</p> <p>4. 送金 (Payments and Transfers) 以外 SEPAダイレクトデビットの場合</p>
--	--	--

送信指図作成手順
～GCMS Plus 紹介ビデオコース～

<p>スライド 22</p>		<p><作成:完了></p> <p>この画面では送金指図が申請済となっており、指図情報のサマリーを参照することができます。</p> <p>申請済の指図を編集、差戻、または削除したい場合は、承認者が承認/拒否する前に、送金>照会・承認画面にて、必要なアクションを選択してください。</p>
<p>スライド 23</p>		<p>このセクションでは、送金 (Payments and Transfers) を使ってISO20022以外での送金指図を作成する際のポイントについてご説明します。</p>
<p>スライド 24</p>		<p><アクセス方法></p> <p>GCMS Plusトップページまたはその他のページで、マウスのカーソルをメガメニューの取引サービスに合わせ、送金>作成>入力をクリックして、新規送金指図を入力します。</p> <p>このメニューは、SWIFTNet経由の外国送金/店内振替/国内送金、およびSEPA、NEFT、PesoNet、CITAD、および全銀などの現地決済ネットワークを介した国内送金を対象とした、共通メニューです。</p> <p>このセクションではISO20022以外での単票指図(外国送金など)の作成手順をご説明します。</p>

スライド 25



<作成: 選択画面>

送金指図作成は、下記の2ステップで行います。

ステップ1: 作成

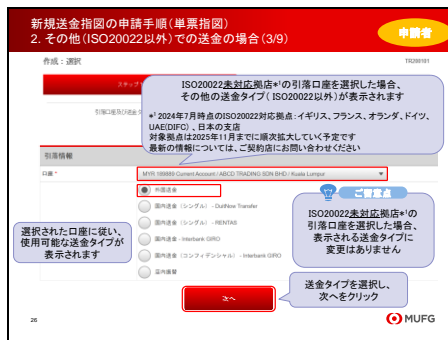
ステップ2: 確認・完了

ステップ1では、まずドロップダウンリストからISO20022未対応拠点*1の引落口座を選択します。*2

*1 2024年7月時点のISO20022対応拠点: イギリス、フランス、オランダ、ドイツ、UAE(DIFC)、日本の支店。対応拠点は2025年11月までに順次拡大していく予定です。最新の情報については、ご契約店にお問い合わせください。

*2 ISO20022対応の拠点の引落口座を選択した場合、ISO20022による送金タイプが表示されます。

スライド 26



<作成: 選択画面>

ISO20022未対応拠点*1の引落口座を選択した場合、その他の送金タイプ(ISO20022以外)が表示されます。

送金タイプを選択し、次へ(NEXT)をクリックします。

*1 2024年7月時点のISO20022対応拠点: イギリス、フランス、オランダ、ドイツ、UAE(DIFC)、日本の支店。対象拠点は2025年11月までに順次拡大していく予定です。最新の情報については、ご契約店にお問い合わせください。

選択した口座に応じて、利用可能な送金タイプが表示されます。

以下が主な4種類の送金タイプです。

- 海外送金(SWIFTNet経由)
- 国内送金(シングル)(SWIFTNet経由)
- 国内送金(決済ネットワーク名)(ローカル決済ネットワーク経由)
- 店内振替(SWIFTNet経由)

ISO20022未対応拠点*1の引落口座を選択した場合、表示される送金タイプに変更はありません。

スライド 27

<作成:入力画面 – 取引>

前画面で選択した口座と送金タイプの組み合わせにより、送金指図の入力項目が決まります。

入力項目の表示は、前画面の作成:選択画面で選択した引落口座、送金タイプにより異なりますので、実際の画面に従って必要事項を入力してください。

送金タイプと引落口座の+ボタンをクリックして、セクションを展開すると、詳細が表示されます。(デフォルトでは折りたたまれています)

画面に表示される入力項目に従い、以下項目に必要事項を入力します。

- ・取引
- ・受取人
- ・通知
- ・内部コメント

指図入力画面上的のアスタリスク(*)は、入力項目が必須であることを示しています。

<取引>

通貨、金額、手数料区分(受取人負担/依頼人負担/双方負担)等の取引情報を入力します。

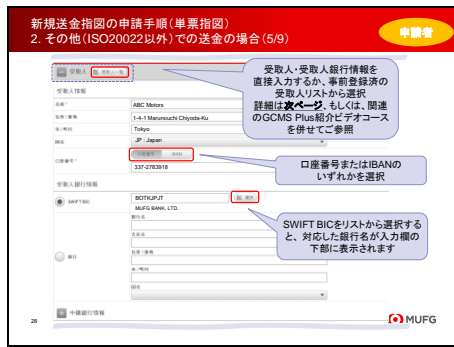
送金の作成時に送金指定日が決まっていない場合は、空白のまま申請が可能です。送金指定日は、後で申請者が編集したり、承認者が決定(上書き)することができます。詳細については、関連のGCMS Plus紹介ビデオコースの[送金照会・承認手順]をご参照ください。

金額を入力し、NOEX、SPOTまたはCONTの相場区分を選択します。

為替予約(相場区分:CONT)を締結している場合は、為替予約番号を直接入力するか、リストから締結済みの為替予約番号の情報と引き込むことができます。

入力項目に不明な点がありましたら、GCMS Plusユーザーマニュアルを参照いただくか、当行契約拠点までお問い合わせください。

スライド 28



<作成:入力画面 - 受取人>

受取人名、住所(国名・口座番号を含む)、その他必要事項を入力します。

ユーザーは、受取人一覧から、事前登録済の受取人を選択することができます。

受取人リストについては、任意でご利用いただくことも必須でご利用いただくも可能です。

お客様の申込書上での申請に基づき当行にて、任意・必須の登録をします。

詳細については、関連のGCMS Plus紹介ビデオコース[受取人リスト設定方法]をご参照ください。

入力項目の表示は、前画面の作成:選択画面で選択された引落口座、送金タイプにより異なる場合があります。

実際の画面に従い、必要事項を入力してください。

スライド 29



<受取人リスト選択画面>

この画面で、検索条件を入力し、検索ボタンをクリックすると、事前登録済の受取人情報を取得することができます。

検索条件には、リファレンス(特定の名前、優先順位、IDなど)、受取人のために登録された参照情報)、受取人名、受取人口座番号等があります。

検索したい受取人が見つからない場合は、さらに検索条件を絞り込んだり(複数の検索条件を併用可能)、受取人が受取人リストに事前登録済かどうかご確認ください。

詳細については、関連のGCMS Plus紹介ビデオコース[受取人リスト設定方法]をご参照ください。

検索する受取人が見つかった場合、該当のラジオボタンを選択し、設定(Set)をクリックすると前画面(作成:入力画面)に戻ります。

登録済みの受取人と受取人銀行情報は、作成:入力画面に自動的に設定されます。

スライド 30



<作成:入力画面 - 通知情報と内部コメント>

通知情報では、受取人宛てメッセージを入力することができます。

また、受取人宛通知機能にて、受取人へ送金情報を電子メールで通知したい場合は、受取人の電子メールアドレスと送金指定日、金額、メッセージ(内容)などの関連事項を入力します。

※受取人宛通知機能をご利用いただけるサービスは一部サービスに限られており、別途お申込みが必要となりますのでご注意ください。

内部コメントの項目では、申請者コメント、または承認者コメントの入力が可能です。なお、コメントはお客さまが内部で使用するためのものであり、送金指図には含まれません。

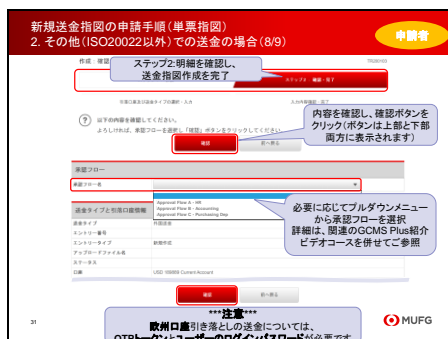
入力が完了したら、申請(Apply)ボタンをクリックして次に進みます。

または、一時保存(Save as Draft)をクリックして送金指図を保存することができます。

<UIUXのポイント>

ハイライトしている赤色のボタンは、申請、一時保存、確認等の重要なアクションを表しています。一方、ライトグレーのボタンは、前に戻る、キャンセル、ダウンロード等のその他のアクションを表します。

スライド 31



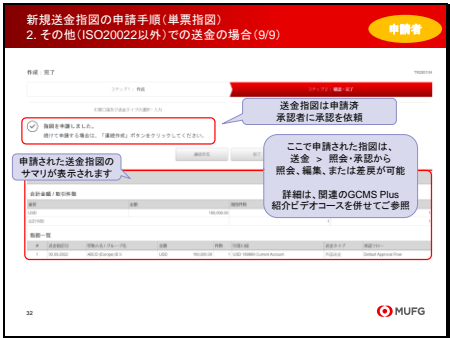
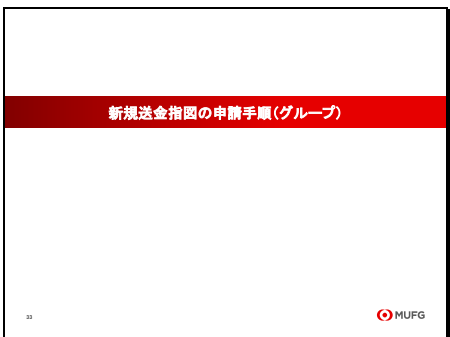

<作成:確認画面>


この画面は、送金指図作成のステップ2です。これまでに入力した情報を確認し、承認フローを登録している場合は、承認フローを選択します。

送金指図の承認フローについては、以下のパターンで適用されます。



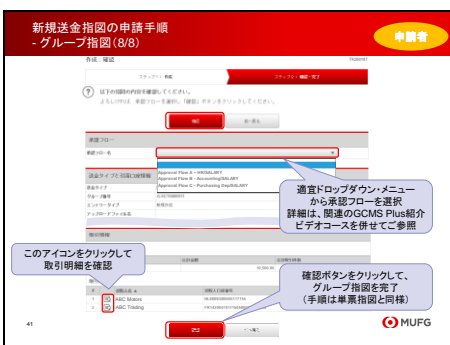
1. 受取人リストが送金指図(海外送金、国内送金(シングル)、店内振替)に使用され、特定の承認フローが受取人リスト*に登録されている場合は、登録済みの承認フローが自動的に適用されます。
2. 送金(Payments and Transfers)で、承認フロー*が1つ登

		<p>録されている場合、当該承認フローが自動的に適用されま す。</p> <p>3.送金(Payments and Transfers)で、承認フローパターンを 作成し複数の承認フローを作成している場合、プルダウンメ ニューから承認フローを選択します。</p> <p>4. 承認フローを登録していない場合には、デフォルト承認フ ロー*(申請と承認の2ステップ)が自動的に適用されます。 この場合、承認権限を持つすべてのユーザーがこの指図を承 認することができます。</p> <p>*詳細については、関連のGCMS Plus紹介ビデオコース[受 取人リスト設定手順と承認フロー設定手順]をご覧ください。</p> <p><PSD2規制に準拠した追加手順に関する注意> 欧州のPSD2規則が適用されるお取引の場合、送金指図の 作成および承認(含む多段階承認)には、申請者および承認 者の双方で、取引承認を行うことが義務付けられています。</p> <p>以下の基準のいずれかに該当する場合に必要となります。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 送金(Payments and Transfers)の送金タイプが海外送 金/国内送金(シングル)/店内振替(またはSWIFTNet経 由の送金に相当するもの)の場合でEU/EEA各国の引落 口座の場合 <p>※ 複数の送金指図を作成または承認する場合、上記の引 落口座を含む送金指図が1件でも含まれていると本手順が必 要となります。</p> <p>2. 送金(Payments and Transfers)の送金タイプが以下のい ずれかの場合:</p> <ul style="list-style-type: none">• 国内 - SEPA• 国内(コンフィデンシャル) - SEPA <p>3. 送金(Payments and Transfers)以外 UK Low Value Paymentsの場合</p> <p>4. 送金(Payments and Transfers)以外 SEPAダイレクトデ ビットの場合</p>
--	--	---

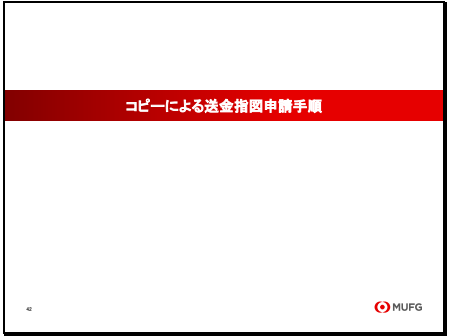

<p>スライド 32</p>		<p><作成:完了></p> <p>この画面では送金指図が申請済となっており、指図情報のサマリを参照することができます。</p> <p>申請済の指図を編集、差戻、または削除したい場合は、承認者が承認/拒否する前に、送金>照会・承認画面にて、必要なアクションを選択してください。</p>
<p>スライド 33</p>		<p>このセクションでは、送金 (Payments and Transfers) を使って、新規の送金指図 (グループ指図) を作成する際のポイントについてご説明します。</p>
<p>スライド 34</p>		<p><アクセス方法(グループ指図)></p> <p>これまで、単票指図の基本的なステップと重要なポイントについてご説明しました。</p> <p>以降のページでは、グループ指図(例:国内送金 - SEPAなど)の作成手順を簡単に説明し、単票指図とグループ指図の違いをご説明します。</p> <p><作成:選択画面>(グループ)</p> <p>本セクションの冒頭で述べたように、選択した引落口座に基づいたローカルネットワーク経由の国内送金が利用可能な場合、引落情報に当送金タイプが表示されますので、該当する送金タイプを選択し、次へ (Next) のボタンをクリックして先に進みます。</p> <p>選択した引落口座拠点にてISO20022対応開始後も、グループ送金(例:国内送金 - SEPAなど)については変更がない</p>

		<p>旨、ご注意ください。</p>
<p>スライド 35</p>		<p><作成:入力画面>(グループ)</p> <p>グループ指図を作成するには、まずグループ関連情報を入力します。</p> <p>事前にグループ内のすべての取引のグループ名を定義しておくと、識別が容易になり、後で検索しやすくなります。</p> <p>実際の画面に従い、必要事項を入力してください。</p> <p><注></p> <p>前セクションで説明したように、入力項目の表示は作成:選択画面で選択した口座や送金タイプによって異なります。</p> <p>該当する場合は、個別引落または一括引落から引落タイプを選択します。</p> <p>一括引落: 一括引落で、1指図内に複数明細を作成することができます。</p> <p>個別引落*: 1指図内に1つの明細を作成します。*当引落タイプを選択すると、1指図内に複数明細を作成することはできません。</p> <p>上記説明の通り、一括払い、給与/ボーナス支払などの場合には、口座への個別引落を選択します。</p> <p>給与/ボーナス支払の場合、国内送金(コンフィデンシャル)-SEPAのようなコンフィデンシャルに対応する送金タイプを選択します。</p>

<p>スライド 36</p>		<p><作成:入力画面>(グループ)</p> <p>グループ指図に新規の取引を追加するためには、取引情報に表示されている作成(New)ボタンをクリックします。</p> <p>取引明細が登録されると、作成:入力画面に戻り、次画面に進みます。</p> <p>複数の取引を追加する場合は、この手順を繰り返して新しい取引を追加します。</p>
<p>スライド 37</p>		<p><作成:明細入力画面>(グループ)</p> <p>画面に表示される入力項目に従い、取引明細を入力します。</p> <p>作成:選択画面で選択した引落口座や送金タイプによって入力項目の表示内容が異なるため、実際の画面の内容が異なる場合がありますのでご注意ください。</p>
<p>スライド 38</p>		<p><作成:入力詳細画面>(グループ)</p> <p>画面に表示される入力項目に従い、取引明細を入力します。</p> <p>作成:選択画面で選択した引落口座や送金タイプによって入力項目の表示内容が異なるため、実際の画面の内容が異なる場合がありますのでご注意ください。</p> <p>店内振替の場合は、受取人銀行情報を入力する必要はありません。引落口座銀行 / 支店と同一 (Same as Settlement Account Bank / Branch) を選択します。</p>

<p>スライド 39</p>		<p><作成:入力明細画面>(グループ)</p> <p>画面に表示される入力項目に従い取引明細を入力します。</p> <p>作成:選択画面で選択した引落口座や送金タイプによって入力項目の表示内容が異なるため、実際の画面の内容が異なる場合がありますのでご注意ください。</p> <p>実際の画面に従い必要事項を入力し、登録 (Register) をクリックして前画面の作成:入力画面に戻ります。</p> <p>複数の取引を登録する必要がある場合は、この手順を繰り返します。</p>
<p>スライド 40</p>		<p><作成:入力画面>(グループ)</p> <p>メイン画面(作成:入力画面)に戻ると、追加した取引が取引一覧に表示されます。</p> <p>取引を取引リストに追加するには、作成 (New) をクリックし、この手順を繰り返します。*</p> <p>*一括引落を選択した場合のみにおいて可能です。</p> <p>必要な取引をすべて登録したら、申請 (Apply) ボタンをクリックして、作成:確認画面に進みます。</p>
<p>スライド 41</p>		<p><作成:確認画面>(グループ)</p> <p>単票指図作成と同様、この画面は送金作成プロセスのステップ2です。</p> <p>複数の承認フローが登録されている場合は承認フローを選択し、確認をクリックして次に進みます。</p> <p>送金指図の承認フローについては、以下のパターンで適用されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受取人リストが送金指図(海外送金、国内送金(シングル)、店内振替)に使用され、特定の承認フローが受取人リスト*に登録されている場合は、登録済みの承認フローが自動的に適用されます。 2. 送金 (Payments and Transfers) で、承認フロー*が1つ登録されている場合、当該承認フローが自動的に適用されます。

送信指図作成手順
～GCMS Plus 紹介ビデオコース～

		<p>3. 送金 (Payments and Transfers) で、承認フローパターンを作成し複数の承認フローを作成している場合、プルダウンメニューから承認フローを選択します。</p> <p>4. 承認フローを登録していない場合には、デフォルト承認フロー*(申請と承認の2ステップ)が自動的に適用されます。この場合、承認権限を持つすべてのユーザーがこの指図を承認することができます。</p> <p>*詳細については、関連のGCMS Plus紹介ビデオコース[受取人リスト設定手順と承認フローの設定方法]をご参照ください。</p>
<p>スライド 42</p>		<p>このセクションでは、送金 (Payments and Transfers) を使って送金指図をコピーして作成する場合のポイントについてご説明します。</p>
<p>スライド 43</p>		<p><アクセス方法> GCMS Plusトップページまたはその他のページで、マウスのカーソルをメガメニューの取引サービスに合わせます、送金>作成>コピーの順にクリックし、承認済の送金指図をコピーして送金指図を作成します。</p>

スライド 44



<コピー:選択画面>

初期表示では、前月までの承認済み送金指図が表示されます。
承認済みの送金指図をコピーするには、指図を選択し、コピーボタンをクリックして作成:入力画面に進みます。残りのステップは、前のセクションで説明したように、単票指図の作成手順と同じです。

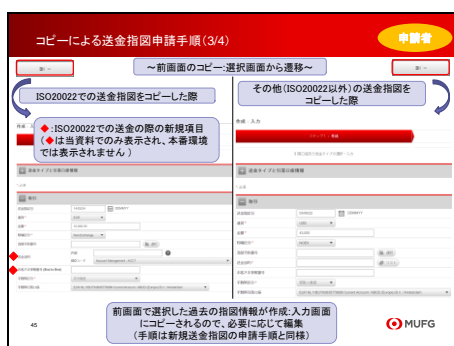
また、検索条件を絞り込み承認済の指図の検索を行うこともできます。
例えば、グループ名(ベンダー、日付などで事前に定義されている場合)を検索するか、特定の受取人または送金指定日を検索します。
受取人が多い場合は、複数の検索条件を用いて検索範囲を絞り込みます。

<UIUXの利用ポイント>

検索項目は大文字と小文字を区別しません。
部分検索は、完全一致を必要とする固定値を持つ特定の項目を除き、すべての項目に適用できます。

この画面ではフローティングアクションボタン(FAB)が表示され、コピーボタンが常に前面に表示され簡単にクリックできます。

スライド 45



<作成:入力画面>

過去の指図をコピーした後、指図内容を必要に応じて編集し、前述のセクションで説明した手順と同様に送金指図を作成します。

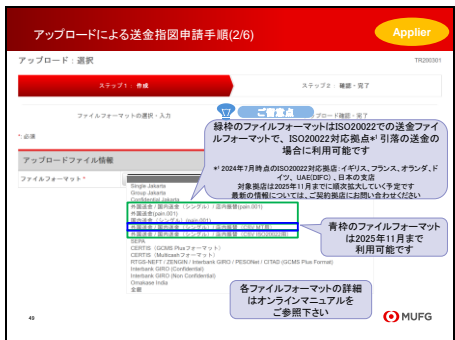
ISO20022での送金指図をコピーすると、ISO20022での送金情報がコピーされます。

他のタイプの送金指図 (ISO20022以外) をコピーすると、そのタイプの送金情報がコピーされます。

ISO20022での送金指図は、ISO20022での送金指図をコピーすることによってのみ作成することが可能で、他のタイプの送金指図をコピーしてISO20022での送金指図を作成することはできません。

<p>スライド 46</p>		<p><ISO20022対応拠点*1の口座をお持ちの皆さまへの注意点></p> <p>引落口座拠点にてISO20022対応開始より3ヶ月間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ISO20022、及び、その他(ISO20022以外) の送金タイプの指図の両方が指図一覧に表示され、どちらもコピーすることが可能です。 <p>引落口座拠点にてISO20022 対応開始より3ヵ月後</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ISO20022での送金指図のみが表示され、コピーすることが可能です。ISO20022対応を開始した拠点の口座引落の送金指図(ISO20022以外)は指図一覧に表示されなくなり、コピーすることができなくなります。 <p>*1 2024年7月時点のISO20022対応拠点：イギリス、フランス、オランダ、ドイツ、UAE(DIFC)、日本の支店。対象拠店は2025年11月までに順次拡大していく予定です。最新の情報については、ご契約拠店にお問い合わせください。</p>
<p>スライド 47</p>		<p>このコースでは、送金(Payments and Transfers)のファイルアップロード機能を使用して送金を作成する場合のポイントについてご説明します。</p>
<p>スライド 48</p>		<p><アクセス方法></p> <p>GCMS Plusトップページまたはその他のページで、取引サービスにマウスカーソルを移動し、送金→作成→アップロードまたは、アップロード - SEPAローカルフォーマットをクリックして、送金(Payments and Transfers)でファイルアップロードを実行します。</p> <p><注> アップロード - SEPAローカルフォーマットは、SEPA送金 (ローカルフォーマット) 権限を持つユーザーの場合にのみ表示されます。</p>

スライド 49



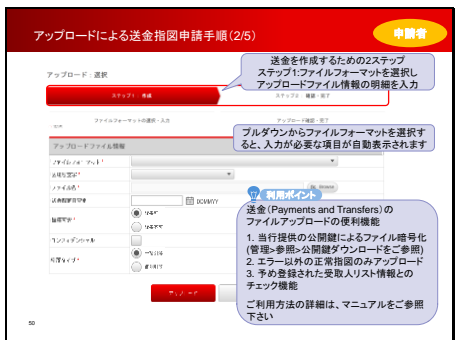
<アップロード:選択画面>

緑枠のファイルフォーマットはISO20022での送金ファイルフォーマットで、ISO20022対応拠点*1 引落の送金の場合に利用可能です。

*1 2024年7月時点のISO20022対応拠店: イギリス、フランス、オランダ、ドイツ、UAE(DIFC)、日本の支店。対象拠店は2025年11月までに順次拡大していく予定です。最新の情報については、ご契約拠店にお問い合わせください。

青枠のファイルフォーマットは2025年11月まで利用可能です。
各ファイルフォーマットの詳細はオンラインマニュアルをご参照下さい。

スライド 50



<アップロード:選択画面>

この画面(アップロード:選択)は、ファイルアップロードの2ステップのうちステップ1で、プルダウンから該当のファイルフォーマットを選択します。アップロードされたファイル自体は、txt、csv、またはXML形式でなければなりません。

選択したファイルフォーマット(GCMS Plusフォーマットなど)と、お客様の権限や登録に従って、該当の項目が表示されます。

<利用ポイント>

ファイルアップロード機能の便利機能をご紹介します。

1. 当行提供の公開鍵*で暗号化されたファイルをアップロードすることができます(送金(Payments and Transfers)にある全てのアップロードに適用されます)。

*メガメニュー>管理>参照からダウンロードできます。

2. ファイル内の正しい指図のみをアップロードできるように設定したり(エラーのある指図はアップロードされません)、ファイル内の指図のいずれかにエラーが含まれている場合はアップロードしないよう、事前に設定しておくことができます。

3. 登録された受取人リストと、ファイル内の受取人を突合することにより、ファイルアップロード機能を使用する場合、事前登録された受取人のみの送金指図*を作成することができます。

*海外送金/国内送金(シングル)/店内振替、または送金(Payments and Transfers)における送金タイプに相当するものに適用されます。

ご利用方法の詳細は、マニュアルをご参照下さい。
 これらの設定は、お客さまの申込書に基づき当行にて登録します。

スライド 51



<アップロード:選択画面>

この画面(アップロード:選択)は、ファイルアップロードの2ステップのうちステップ1で、プルダウンから該当のファイルフォーマット(File Format)を選択します。選択したファイルフォーマット(GCMS Plusフォーマットなど)と、お客さまの権限や登録に従って、該当の項目が表示されます。

次に、アップロードファイル内の各項目の区切り文字(Delimiter)(タブ、カンマ)を指定し、アップロードするファイルの場所を選択します。

送金指定日変更(Overwrite Value Date)は、申込書上で送金指定日を編集可能に設定した場合にのみ表示されます。以下の通り、オンライン(画面)入力、またはファイルアップロードとで設定方法に違いがございますので、ご注意ください。

- オンライン(画面)で作成する場合、送金指定日は空白のまま申請・承認が可能です。
- ファイルアップロードの場合は、送金指定日を空白または過去日付でアップロードすることはできません(エラーが表示されます)が、こちらの画面上で、送金指定日を指定することで、ファイルのアップロードを進めることができます。

編集可否(Editable Instruction)は、申込時にアップロードファイル編集可能としている場合のみ表示されます。

送信指図作成手順
～GCMS Plus 紹介ビデオコース～

		<p>コンフィデンシャル(Confidential)の項目は、SEPAフォーマットの場合に、ユーザーがコンフィデンシャル権限を付与されている場合にのみ表示されます。その他のフォーマットの場合、コンフィデンシャルの項目は表示されません。</p> <p>引落区分(Debit Type)は、グループジャカルタ(Group Jakarta)の場合のみ表示されます。その他のフォーマットの場合、引落区分は表示されません。</p>
<p>スライド 52</p>		<p><アップロード確認・完了画面></p> <p>この画面は、ファイルアップロードのステップ2です。必要に応じて承認フローを選択します。</p> <p>承認フローの選択については、セクション2の承認フロー関連の説明をご参照ください。</p>
<p>スライド 53</p>		<p><アップロード:完了画面></p> <p>ファイルアップロードによる送金指図の申請が完了しました。</p> <p>こちらの画面上で、指図情報のサマリを参照することができます。</p> <p>申請済の指図を編集、差戻、または削除したい場合は、承認者が承認/拒否する前に、送金>照会・承認より、必要なアクションを選択してください。</p>
<p>スライド 54</p>		

ご留意事項

- 本資料の決済商品・スキームはその他のお取引(預金・融資等)とは独立した取引であり、決済商品・スキームをお申込頂くかどうかは、株式会社三菱 UFJ 銀行(以下、当行)のその他のお取引(預金・融資等)の条件となるものではありません。
- 本資料は法律上・会計上・税務上の取扱いについて、当行が専門的な助言を行うものではありません。また、本資料に関連して生じた一切の損害については、当行は責任を負いません。本資料に記載された事項に関する法律上・会計上・税務上の取扱いについては、貴社ご担当の顧問弁護士、会計士、税理士など専門家にご相談下さいますようお願い申し上げます。
- 本資料により、貴社と当行の間には何ら委任その他の契約関係が発生するものではなく、当行が一切法的な義務・責任を負うものではありません。
- 本資料に記載された一部の商品のご導入については、当行所定の審査が必要となります。また、当行は債権譲渡スキームなどにおいてアレンジャーとしての役割を担うことがあります。一方で与信を供与する立場にもあるため貴社と利害関係が対立することがあります。
- 各種のお取引やサービスをご利用いただきます際に、海外にて貴社並びに貴社の海外現地法人様などが当行にて外貨預金口座をご開設・保有いただく場合があります。新規に外貨預金口座をご開設いただきます際には、一般的に以下の点にご留意ください。
 - 円貨以外の通貨で預金を保有する場合、為替相場の変動により、元本の円貨換算額が当初預入時の円貨換算額を下回る(損失が生じる)恐れがあります。
 - 外貨預金は、口座開設をされる当該国の現地法に基づく商品ですので、現地法・規制等の変更により、預金の元利金の受取り額が変更されたり、引き出し制限などを受ける可能性があります。また、急激な為替相場の変動によりお取扱いを一定期間停止することがあります。
 - 外貨預金が、現地の預金保険の対象となるか否か、預金保険の対象となる金額などは、国毎に異なります。なお、日本においては預金保険の対象外です。
 - 外貨預金の利子に課される税金の取り扱いも、預金開設国毎に異なります。
 - 預金の適用利率や取り扱い手数料は、対象国、対象通貨、取引規模などにより異なるため、予めお示しすることができません。
- 送金取引、外国為替取引、資金調達、各種 EB 商品、アドバイザーサービスなどの手数料等は、対象国、対象通貨、取引規模、サービス内容などにより異なるため、予めお示しすることができません。具体的にお取引やサービスをご希望される場合には、上記の内容を伺った上で、個別に詳細をご案内申し上げます。
- 掲載サービスの内容及びシステムの仕様は事前に通知することなく変更する場合があります。また、一部サービス／商品については現在開発中のものが含まれており、当行及びその他諸事情によりサービス／商品の提供ができないこともございますので予めご了承ください。
- 本資料は当行の著作物であり、著作権法により保護されております。当行の事前の承諾なく、本資料の全部または一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。
- 本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当行はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示したすべての内容は、当行の現時点での判断を示しているに過ぎません。
- 本資料は作成日現在における一般的な情報の提供を目的としており、何ら取引ないし契約の条件提示あるいは投資等の行為の勧誘を目的としたものではありません。本資料に記載された事項に関するリスクの多寡及びそれが貴社にとって妥当なものか否かは、貴社が自己の責任に基づき独自にご判断いただくようお願い申し上げます。

当行が契約している指定紛争解決機関: 一般社団法人 全国銀行協会

連絡先: 全国銀行協会相談室

電話番号: 0570-017109 または 03-5252-3772

受付時間 / 月～金曜日 9:00～17:00(祝日、12/31～1/3 等を除く)

上記機関は、申立人またはその代理人が日本語で対応できること、紛争の対象となる契約・法律行為にかかる準拠法は日本法に限ることなどの制約を設けていることがありますので、ご注意ください。

〒102-0083 東京都千代田区麹町五丁目 1 番地 1 麹町ガーデンタワー

株式会社三菱 UFJ 銀行

連絡先: トランザクションバンキング部

Confidential / ©MUFG Bank, Ltd. All rights reserved